

女子中高生夏の学校 2019 参加報告書

開催日	2019年8月10日(土)
開催時間	13:00~17:00
名称	女子中高生夏の学校 2019~科学・技術・人との出会い~
主催者	独立行政法人国立女性教育会館(NWEC)
開催場所	独立行政法人国立女性教育会館(NWEC)
行事概要 (100文字程度)	NWECでは、毎年、理系を目指す女子中高生を対象として、合宿形式の体験型プログラムを実施している。本委員会では例年どおり、ポスター展示に参加するとともに、ポスター展示終了後「Gate Way」(学生スタッフ企画; キャリア相談)に参加した。
参加人数	委員4名 委員補佐1名

実施内容

男女共同参画推進委員会の女子学生・女性技術者支援小委員会メンバーが、ポスター展示(13:00~15:00)に5名、「Gate Way」(15:00~17:00)に3名参加した。女子中高生、学生スタッフ併せて30名程度が本展示ブースに来場した。ポスター展示では、中高生には理系職業の種類の多様さや将来の資格として技術士があることを、TA(アシスタントの理工系女子大生)には技術士資格、女性技術士の割合、技術サロンなどを広報、第一次試験は大学生でも受験できることなどを説明し、技術士資格に興味を持ってもらうことができた。「Gate Way」では、「機械屋さん」、「建築・土木・環境」、「理系の中で進路変更をした人」のブースに委員1名ずつ参画し、各自が自身の体験を踏まえて個別に対応した。専攻と職業の間に多くの参加者が固定観念をもっており、「女性はライフイベントに応じて専門分野を変えることが必要な時期もある。必ずしも1つの分野や職場に固執する必要はない」という話(理系の中での進路変更)には中高生だけでなくTAも頷きながら耳を傾けていた。また、

毎年参加者の傾向が違うが、今年は例年よりTAの立ち寄りが多かった。森林分野に進みたいというTAが複数、農業分野に進みたいという高校生もおり、自然を対象とする分野に進みたい人が多い印象を受けた。TAは技術士資格への関心が高く、中高生は文理選択も含めて将来のイメージがほとんど持っていないようだった。

なお、主催者から「3日目のキャリアプランニングで、ひとりの生徒さんが技術士になりたいと発表されていて、『この夏学に来て一番の収穫は、「技術士』というカッコいい資格があることを知ったこと』とのこと。技術士が話題になったことも含め、次回への励みとなった。

写真

